



3月19日 東広島・安芸バイパス開通

昭和49年に都市計画決定され、48年にわたり開通を待ち望んでいた東広島・安芸バイパスが、いよいよ今月の19日に全線開通します。

これによって、国道2号の渋滞の緩和による物流の円滑化や通勤時間の短縮、交通事故の減少、周辺地域との連携強化による商圏の拡大など、さまざまな効果が期待されます。

また、平成30年の豪雨災害において山陽道や国道2号が通行止めとなった際も、一部開通していた東広島バイパスが代替路として機能するなど、非常時における交通の確保の更なる強化も期待されます。

海田町は、西国街道の宿場町となるなど、昔から交通の要衝として栄えた町であり、鉄道は明治27年に山陽本線が、明治36年に呉線が開通し、道路は国道2号と海田を起点にする国道31号があるなか、このバイパスの開通で、さらに交通拠点としての重要性が高まるものと考えます。

さらに、東広島バイパスから海田大橋に接続する広島南道路(明神高架橋)や、新畝橋などの整備が進むことにより、まちの交通ネットワークの充実に大きく寄与することから、引き続き、国や県としっかりと連携しながら、まちの交通の要衝としての利便性と拠点性の向上に努めてまいります。

今月の休日診療当番医

※診療科目外の症状については、対応できない場合があります。当日の新聞で、変更の有無や町外の当番医を確認してください。

3月 5日(日)	原小児科	(日の出町 ☎820-0606)
3月12日(日)	おおや耳鼻咽喉科	(西浜 ☎821-3387)
3月19日(日)	海田よつ葉クリニック	(栄町 ☎562-2100)
3月21日(火・祝)	金谷整形外科クリニック	(幸町 ☎822-2070)
3月26日(日)	森原内科胃腸科医院	(蟹原 ☎822-5550)

広島県内の当番医は「救急医療Net Hiroshima」【<http://www.qq.pref.hiroshima.jp/>】で確認できます。

広島県小児救急電話相談(毎日19時～翌8時)(こどもの救急電話相談)(☎#8000または☎505-1399)

小児科勤務の経験がある看護師(小児科医師が支援)が専門的なアドバイスを電話で行います。

救急相談センター広島広域都市圏(24時間)(☎#7119または☎246-2000)

看護師が緊急性や応急手当の方法、適切な医療機関などについて電話でアドバイスを行います。

救 急 診 療

- 広島市立舟入市民病院(広島市中区舟入幸町14-11 ☎232-6195)小児科(24時間)
- 広島市立広島市民病院(広島市中区基町7-33 ☎221-2291)歯科・歯科口腔外科を除く科目(24時間)
- 安芸市民病院(広島市安芸区畑賀2-14-1 ☎827-0121)
内科または外科(土・日曜、祝日18時～23時)※診療科目については、当日電話で確認してください。
- 千田町夜間急病センター(広島市中区千田町3-8-6 ☎504-9990)内科(15歳以上)・眼科・整形外科・外科(19時30分～22時30分)
- 広島口腔保健センター
(広島市東区二葉の里3丁目2-4 ☎262-2672)歯科(日曜・祝日・お盆・年末年始9時～15時)
- 広島県小児救急医療電話相談(こどもの救急電話相談)(☎#8000または☎505-1399)
小児科勤務の経験がある看護師(小児科医師が支援)が専門的なアドバイスを電話で行います。(毎日19時～翌8時)